

# 一心太助の天秤棒

## ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担で売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 168号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

### 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期23年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4600日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は296名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



### 2回もの延期にもかかわらず、大会参加者は50人余で熱戦を展開

がんばろう越谷グラウンドゴルフ大会が、7月21日午前8時30分からの開会式に市内のグラウンドゴルフのチームの代表者50名余が参加した。会場となったのは、増林にある越谷市総合グラウンド公園。

この大会は、各チームのリーダーを中心に毎回実行委員会を結成し、大会準備や当日運営を担当している。

私は開会式で挨拶をするため、この日は駅立ちは中止して臨んだ。

最初の大会日時では前日からの大雨で延期となり、そのため7月6日に延期されたが、更にグラウンドコンディションが悪く再再延期となった。当然選手の辞退や新規参加となったが、

前回大会から3か月振りとなり、優勝を目指して試合が始まったもの。

この間連日の猛暑が続いていたが、この日も朝から蒸し暑さが加わり、グングンと気温が上がって行く。

そのため当初2ラウンドで予定されていた大会は、1ラウンドで終了となった。

勿論、まだまだ大丈夫とプレー続行を望む選手もおられたが、事故や健康状態への配慮から1ラウンドとなったことは賢明な判断だった。

次回は11月頃に開催予定だが、その頃はスポーツには最適な時期だろう。

(7月21日・火曜日)

### 市政レポートを投げ捨てる酔っぱらった若い女性の心理とは何だろうか？

今朝の駅立ちは、新越谷駅西口で午前6時から開始した。自宅を出る午前5時20分頃にはすでに気温は高く、駅到着後の街宣用具の搬出や設置、更に駅前清掃の作業を終えたら既に額に汗をかく程だった。

市政レポートの配布を開始して午前7時過ぎに市政レポートを設置しているスタンドから3人の酔っぱらった若い女性の一人が、このスタンドの市政レポートを手にとられたので、ありがとうございます、と声を掛けた。

ところが、この女性は自分で取った市政レポートを足元に投げ捨てた。(落としたのではなく投げ捨てた)びっくりしたが直ちに「お嬢さん、今のは何でしょうか」と後ろから何度も声をかけたが、聞こえないのか無視しているのか3人で東口にむかって歩いて行く。

更に何度も大きな声で呼びかけたが当人の態度はかわらなかったが、他の一人が少し振り向いたがやはり無視する行動。

朝から酩酊するほど飲酒しているので、まともではないと判断出来たのだが、それにしても一旦自分で引き抜いた市政レポートを何故なげすてるのだろうか、その答えを聞きたかったので20メートル近く追いかけたが諦めた。

その後午前8時頃今度は、2人のやはり酩酊した若い女性の一人が、私から市政レポートを受け取り、これは何ですかと尋ねられたので議員バー開催の案内と市政レポートですよ、と答えた。すると私これを配ります、との申し出。ありがとうございます。ただ、なにが書いてあるかわからなかったら、  
(裏へ)

読んでもらえませんか、と応答。

するともう一人の女性がそうだよ、中身をしらなきゃー、との返事だったので、是非7月の議員バーに来てください、と誘ったら行きます、行きますと応答され、笑顔で別れた。

期せずしてこの2つの事例を体験したが、酔ってしようと、そうでないにしても他人との関りを日頃どうしているのか、どんな会話が出るのか、日常がその人の人生に大きな影響を及ぼすものだと、痛切に感じた朝だった。

(7月22日・水曜日)

農からひらく地域の未来：文化・福祉・自治をつなぐ。議員と語るコンセプトバ



毎月恒例開催となっている第11回議員バーをコミュニティスペースガヤchillで開催した。主催は一般社団法人ソブリンムーブメント。

今回のテーマの一つ「農をひらく」のゲストは、かすかべメディアカフェ代表の土渕正則さん。更に「船橋市長選挙の惜敗から見えて来た社会的問題の現実」をテーマに、前船橋市議会議員の津曲俊明さん、また「市の予算・決算書はどうやって作成する？」をテーマに越谷市財務部長の野口裕子さんの3人。

会場では20名もの参加者で満員御礼状態だが、吉田理子さんの調理した何時ものように運ばれる料理はどれも美味しい、美味しいの聲が聞かれ、用意されたワインや日本酒、ウイスキーが次々と参加者の喉に。特に一匹丸ごとの鯛の塩釜焼きは絶品との声が会場に蔓延した。

また、この日進行を務めたワインソムリエの茂木英利加さんから、この日の雰囲気にあった赤ワインと白ワインのセレクトにも流石との評判。しかもこれも恒例の〇×クイズ(今回は野口財務部長が担当し、10問の作成と解説)



の優勝者にも茂木さん推奨の赤ワインが送られた。

更に、今回初企画の「怪談ナイト」を8月30日(日)午後7時から開催との告知があり、真夏の夜の怖い話に背筋を凍らせながら冷酒で一杯、更に凍る一時を過ごして頂く案内で終了した。

(7月30日・日曜日)

駅前市民対話集会は、複数の機材トラブルで会場を変更。申し訳ありませんでした

第65回白川ひでつぐ駅前市民対話集会を大袋駅西口で開催するため、午後6時30分前に駅に到着してライブ中継の機材をはじめスピーカー等のセッティングをして午後7時からの開始の告知をマイクで始めた。

ところが始めて直ぐに最寄りのスーパーの店員さんからあなたの声が売り場にこだましているので善処してください、と申し出があり直ちに中止。スピーカーのチャンネル番号を変更した。迷惑をかけないため念のためスーパー内にスタッフを派遣して幾つかのチャンネルを試してみたが、今度は肝心のスピーカーからは音は出ず、またスーパー内に私の声ははっきりと聞こえます、との返事。

以前も駅は違うのだが、パチンコ店の館内放送にハウリングするとの声があった時は、このチャンネル変更で何とか実施する事が出来たのだが。更に照明やスピーカー、パソコン等の電源供給のため、今回から新たに災害用の小さなバッテリーを購入して初始動だった。

ところが、こちらも一旦通電はするのだが直ぐに切れてしまう。スイッチを何度も何度も押したり、切ったりしたが不具合が続いた。

やむを得ず、会場をガヤチルに移動してライブ開始は午後7時50分頃になってしまった。

当初の駅前の会場に来る予定だった市民の皆さんには、この場を借りてお詫びします。

(8月17日・月曜日)